

2022年10月7日

「TOKYO PACK 2022 - 2022 東京国際包装展 -」に出展 ～「アルミック缶[®]」で容器のプラスチック使用量削減に向けたソリューションを提供～

昭和電工株式会社（社長：高橋 秀仁）のグループ会社である昭和電工パッケージング株式会社（社長：辻 勝行）は、2022年10月12日（水）から14日（金）に東京ビックサイトで開催される、アジア最大の国際総合包装展である「TOKYO PACK 2022 - 2022 東京国際包装展 -」に出展します。

当社ブースでは、プラスチック使用量削減に貢献するアルミ・樹脂複合容器「アルミック缶[®]」を中心に展示し、プラスチック使用量削減を実現するソリューションをご紹介します。

アルミック缶[®]は、アルミニウム箔と樹脂シートを貼り合わせ、プレス成型した容器です。一般的なプラスチック容器と比較して、平均20～40%のプラスチック使用量の削減が可能です。和菓子メーカー株式会社たねやに採用された容器では、68%*のプラスチック使用量の削減（38.3gから12.3g）を実現しました。

当社ブースは、東2ホール小間番号2-24です。皆様のお越しをお待ちしています。

アルミック缶[®]の使用例



(株)たねや「たねや寒天」（プラスチック使用量68%削減を実現）



アルミック缶[®]

*プラスチック容器、仕切り、フィルム総重量での比較。(アルミは 3.99g)

「TOKYO PACK 2022 -2022 東京国際包装展-」

開催期間:2022 年 10 月 12 日(水)～14 日(金) 10:00～17:00

場所:東京ビッグサイト(東京都江東区有明 3-11-1)

昭和電工パッケージングブース:東 2 ホール 小間番号 2-24

「TOKYO PACK 2022—2022 東京国際包装展—」公式 URL : <https://www.tokyo-pack.jp/>

以上

【昭和電工グループについて】

昭和電工グループは、半導体材料において世界トップシェアの製品を数多く持ち、半導体・電子材料の売上高は、全体の 3 割にあたる約 4,000 億円に上ります。

2023 年 1 月には昭和電工マテリアルズ株式会社(旧日立化成株式会社)との完全統合、Resonac への社名変更を予定しており、半導体分野で高純度ガスからパッケージ材料まで幅広い製品を手掛けています。さらに、国内の半導体材料・装置メーカー各社との共創プラットフォームを生かし、技術革新を加速させることで、グローバル社会の持続可能な発展に貢献してまいります。詳しくは各社ウェブサイトをご覧ください。

昭和電工株式会社 <https://www.sdk.co.jp/>

昭和電工マテリアルズ株式会社 <https://www.mc.showadenko.com>

◆本件に関するお問い合わせ先

昭和電工株式会社 ブランド・コミュニケーション部 広報グループ 03-5470-3235